



# まちづくりびと ニュース

第21号

平成26年8月発行

## <目次>

- P1 今年度のまちづくり活動助成団体が決まりました！
- P3 中村区ご当地キャラクター「ひできよん」誕生！
- P4 イベント情報・編集後記

## 今年度のまちづくり活動助成団体が決まりました！

6月7日（土）、都市センター11階ホールにて、平成26年度まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」の選考会を開催しました。

今年度は、「地域“魅力”アップ部門」に応募された15団体の中から、書類選考と公開選考会により6団体が選ばれました。また、「“はじめの一步”部門」は6団体の中から、書類選考により4団体が選ばれました。

### ▼ まちづくり活動助成を受ける団体

#### <地域“魅力”アップ部門>

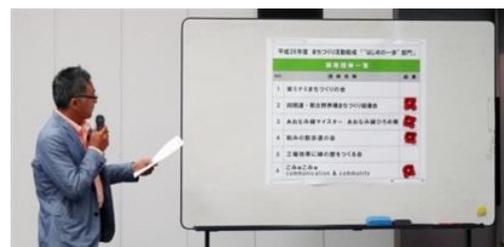
- 陶生町自主防災会
- 特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海
- 一般社団法人 日本ダイバーシティ推進協会
- 片平学区連絡協議会
- 長者町アートアニュアル実行委員会
- 昭和区の歴史文化を守る会

以上6団体

#### <はじめの一步部門>

- 四間道・那古野界隈まちづくり協議会
- あおなみ線マイスターあおなみ線ひろめ隊
- 和みの散歩道の会
- こみゆこみゆ communication&community

以上4団体



## 選考された「地域“魅力”アップ部門」の団体



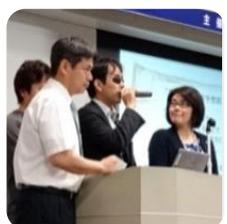
### 陶生町自主防災会

名古屋で一番のモデル自主防災会を目指して、従来型の防災対応をさらに前に進めるため、新しい防災対応策の取り入れや従来の防災対応策の強化などの提案を行いました。



### 特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海

日本在住の他国籍者の多くが、日常で日本人の市民と関わる機会がない現状を踏まえ、言葉や習慣の壁を越えた多文化共生理解の促進を目的として、「多文化映画祭 in なごや」の開催等を提案しました。



### 一般社団法人 日本ダイバーシティ推進協会

多様な人々の視点に立つというプロセスを経ることで、名古屋が持っている観光資源の魅力を市民が再発見することが、まちづくりへの貢献であるとの考えのもとに活動すること、次年度はそれを全国へ向けて発信することを提案しました。



### 片平学区連絡協議会

花と緑でいっぱいの住みよいまちづくり活動で地域コミュニティの強化を図り、「持続可能な社会」(ESD)も視野に入れて、花壇制作と植苗、花種を全戸に配布、畑の整地・種まき・収穫を行うことを提案しました。



### 長者町アートアニュアル実行委員会

トリエンナーレ会場となった長者町における、まちとアートの出会いの継続、魅力の再発見・再創造などの活動を外に向けて発信するため、HP・パネル制作、アーティストトーク開催等を提案しました。



### 昭和区の歴史文化を守る会

「古道や地蔵の保存・みや道解説石碑の建立」「地蔵さん祭りの復活と継承」「名古屋弁を紙芝居にして伝承」の3つを柱に掲げ、子供や高齢者を中心に地域の絆を育む活動を行うことを提案しました。

## 選考を行った「まちづくり基金運用委員」



### 委員長

名古屋大学大学院  
環境学研究科教授  
西澤 泰彦 委員



### 副委員長

名古屋工業大学大学院  
工学研究科准教授  
石松 丈佳 委員



特定非営利活動法人  
こどもNPO理事  
田尾 幸子 委員



名古屋市住宅都市局  
都市計画部長  
浅井 邦彦 委員

※公益社団法人名古屋青年会議所副理事長乃一剛英委員は公開選考会は欠席

# 中村区ご当地キャラクター 「ひできよん」誕生!

昨年の9月～11月に開講された地域の“まちづくりびと”養成講座「中村で“なかまっち”する!？」では、ふるさと“中村区”について様々な視点から学ぶことができました。

せっかく学んだのだから「何かやらなければ…」との思いを募らせているとき、中村区のご当地キャラクターを創ってみようかという声が挙がり、早速「中村区夢づくり実行委員会」という委員会を立ち上げ行動に移しました。

プロのデザイナーがキャラクターを考え、「これが中村区に誕生したご当地キャラクターです!」と発表する方法もありますが、それでは地元の方々に愛されないのではないかと考え、みなさんにキャラクターを創っていただくコンテスト形式を採用しました。

中村区内在住、在学、在勤の方から作品を募り、募集期間が短かったにも関わらず、507点ものキャラクターが集まりました。

芸術大学の先生を審査委員長とする審査委員会にて選考を行い、中村区在住の高校生の作品が最優秀賞となりました。尾張中村出身の武将、豊臣秀吉と加藤清正が愛用した兜と、中村公園のランドマーク“赤鳥居”をモチーフにしたキャラクターであり、名前は「ひできよん」に決まりました。



コンテスト募集チラシ



5/17 太閤まつりで  
お披露目

キャラクターが決まったら今度は着ぐるみ製作です。5月17日(土)に中村公園一帯で開催される太閤まつりに間に合わせるべく、かなりのタイトスケジュールとなりました。

構想が持ち上がったのが12月下旬、実行委員会立ち上げ、コンテスト実施、審査委員会を経て着ぐるみ完成・お披露目が5月中旬と、通常では考えられないスピードで進みましたが、あらゆる方面の方々からのご支援もあり無事にお披露目することができました。ご支援いただきましたみなさまには感謝の言葉しかありません。

5月のお披露目以来、小学校の運動会や幼稚園、保育園の夏まつり、名古屋城やショッピングセンターでのイベント出演など、おかげさまで多くの出陣依頼をいただいております。

『地元の方に創っていただき、愛していただき、育てていただく』そんな思いを持ってこれからも活動していきたいと思っています。

「ひできよん」は中村区に限らず、どこへでも出陣します。

出陣依頼は公式ホームページからお願いします。



名古屋城をバックに

<http://hidekiyon.com>

寄稿：まちづくりびと（長谷川）すぐる

## イベント情報

### ■ 中川運河助成 ARToC10 見一とっく！プロジェクト

平成 25 年度から開始した中川運河助成“ARToC10”を知ってもらうため、昨年度の実施内容や「Moosic in 中川運河」の上映会、今年度の実施内容をお知らせします。



日時	平成26年9月6日(土) 14:00~16:45(受付:13:30~)
場所	名古屋都市センター11階
申込	申込不要・入場無料



### ■ まちづくり広場・東海2014

(一社)日本建築学会東海支部都市計画委員会との共催で、市民活動団体や企業、行政などによる建築・都市に関わる活動事例のパネル展示と活動発表及び交流会を行います。



パネル展示期間	平成26年9月17日(水)~28日(日)
活動発表・交流会	平成26年9月21日(日) 13:30~15:30
場所	名古屋都市センター11階

## 編集後記

4月から新しい「まちづくりサロン」としてリニューアルオープンした「未来茶輪」(ミライカフェ)も、4回目を終えました。

まちづくりびとの吉村輝彦氏、林加代子氏、三田祐子氏が「未来茶輪マスターズ」として中心となり、まちづくりの新しい場「フューチャーセンター」というキーワードのもと、「多様な人々が多彩なテーマでミライにむけて前向きに関わりながら創造的にすすめていきたい」というコンセプトで、毎月1回のペースで企画運営をしています。

新しい情報交流の場“未来茶輪”にも是非一度お立ち寄りください。

(まるちゃん)



次回は  
8月13日  
開催です!

皆さんの活動など、ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、お寄せください!

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

<メンバー> 青木、常包、稲野、小林、片岡、倉地

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号金山南ビル13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail [shien@nui.or.jp](mailto:shien@nui.or.jp) HP <http://www.nui.or.jp>

